

大松だより

発行日 令和7年1月14日
徳島市大松小学校

1月10日早朝

新しい年、令和7年、2025年が始まりました。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。子どもたちは、15日間の冬休みを家族やいろいろな人たちと楽しく有意義に過ごしたことと思います。厳しい寒さの中、子どもたちは希望や目標をもって登校し、のびのびと3学期をスタートさせています。

今年は巳年です。巳年は、これまで努力してきたことが実を結び始める年だと言われています。また、蛇は脱皮をすることから、新たな挑戦や変化に前向きになることができる年だとも言われています。子どもたちにも、しなやかな心と知恵をもって、目標に向かって前向きに挑戦して行ってほしいと願っています。

3学期は、学習のまとめをするとともに、次の学年に向けての準備をする学期です。また、これまでの生活を振り返り、自分や友達の成長に気づき認め合うことを通して、一つの節目となる大切な時期でもあります。子どもたちがより一層充実した学校生活を送り、持てる力を存分に発揮できますように努めたいと思います。ご家庭におかれましても、インフルエンザ等の感染予防に関する健康観察や健康管理に加えて、子どもたちへの励ましを引き続きお願ひいたします。

「子どもは風の子」

厳しい寒さが続いています。が、「子どもは風の子」の言葉通り、子どもたちはとても元気です。1月9日の夜から徳島市内にも少し雪が降り、1月10日の朝、子どもたちは、雪遊びができるのではないかと期待しながら登校してきました。残念ながら運動場の雪はうっすらとしか積もりませんでした。子どもたちは、手すりや花壇の上に積もった雪を上手に手に取り、雪うさぎや雪だるまを作ったり、雪を空に向かって投げてみたりと、雪の感触を楽しんでいました。また、とても冷たい空気の中、元気に運動場を走り回る姿も見られました。

何気ない子どもの姿ですが、雪の降る日の空気の冷たさや静寂感、雪が降った日の登校時のわくわく感、積もった雪を手取る感触、すべらないように慎重に凍った道路を歩くこと、水たまりにできた小さな氷を割る時のパリッという音と足先の感覚、運動場の凍った土の固さ、冷たさが身にしみる風を切って運動場を友達と駆け回る楽しさや心地よさ・・・等、このような五感を使う経験を通して子どもたちは感性豊かに成長していくのだと、改めて感じた、雪の日の朝でした。



人権集会

12月3日に人権集会を行いました。これまでの人権学習で学んだことを各学年ごとに発表しました。子どもたちは真剣な表情で聞き合っていました。人権標語や人権ポスターの発表もありました。児童会是人権ボックスに入っていた「友だちにしてみてもうれしかったこと」「友だちががんばっていたこと」などを伝えたり、人権クイズをしたりしました。最後に「フレンドシップ」を全員で合唱しました。全校児童、先生方の心を合わせた歌声が体育館いっぱい響きわたりました。自分も友達も大切にしながら生活していこうという気持ちをもつことができた、心あたたまるすてきな人権集会でした。



人権集会は、人権感覚を高めるとともに、仲間として支え合って生活していこうとする態度を育てることを目的としています。全学年で人権について考える1年に一度の貴重な機会であり、今後も大切に続けていきたいと思っています。



校舎外壁塗装と防水工事ならびにトイレの乾式化に伴う工事

校舎外壁塗装工事と防水工事の完了が近づいてきました。12月半ばに足場が撤去され、きれいに塗装された校舎が姿を現すと、子どもたちは驚きと喜びの声を上げていました。

校内6カ所のトイレの乾式化に伴う工事は、各トイレの工事期間をずらしながら進めていただいています。工事期間中は、少し不便をかけますが、トイレの環境整備のためにご理解ご協力をお願いします。

インフルエンザの予防

1月10日、徳島県ならびに徳島県医師会より「徳島県・感染症拡大危機事態宣言」が発出されました。県内において過去に例のないインフルエンザの大流行が発生しており、医療提供体制のひっ迫が生じているそうです。さらなる流行の拡大も懸念されます。学校においても基本的な感染予防対策の徹底に努めてまいりますので、ご家庭でもご協力をよろしくお願ひいたします。

徳島県HP <https://www.pref.tokushima.lg.jp/ippanokata/kenko/kansensho/7242565/>

